

農泊を活用した複業による田舎暮らし

# 在りたい未来は自分で創る

栗原市地域おこし協力隊 櫻庭 伸也

2022.3.18



# 東京暮らし 田舎暮らし

約15年間

田舎暮らし  
初心者

# 仕事

東京ではIT企業、WEBディレクション



# 出身

青森生まれ  
神奈川育ち  
東京暮らし

# 年齢

45歳、独身

# 田舎暮らし

日々、初めてとの対面

# 基本情報



櫻庭伸也

# 学びの場

週末は社会人向けの学校へ



ニッポン全国総グラブ2015 農家商店 藤山店  
藤原のもちとろキノコ鍋

# 複業

農泊、IT業、農産物、他

# マイプロ

福島の高規格野菜販売  
ハイタッチで元気になど

# 農泊

2021年4月民泊登録

# 古民家

山、田畑借りる。修繕。

# 自然好き

公園、登山、温泉など

# 移住

2016年岩手県花巻市  
2019年宮城県栗原市

# 環境問題解決

大学で研究。リサイクルをLCA調査。

# 開拓中

耕作放棄地の田畑 1ha、山1ha

# 地方移住の挑戦者

日々あがいていますが、まだ何も成していない。

# 協力隊

宮城県栗原市地域おこし協力隊文字地区  
ただいま新メンバー募集中！



# 1.自己紹介（櫻庭伸也）

1、青森生まれ、神奈川県育ち、東京暮らし  
現在は栗原市栗駒文字地区在住、独身



2、**IT企業勤務**（WEBメディア、イベント企画など）  
**地球環境問題、CSR、新ライフスタイル**など



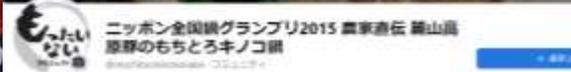
3、週末は社会人学校で現場に足を運び五感で学ぶ  
趣味で登山→写真撮影→温泉入浴 気分転換



4、マイプロジェクト①街を元気にするソーシャル活動  
3.11以降は東北応援する活動へ



5、**マイプロジェクト②**  
東北へ自主旅行企画実施、東北食材仕入れて収穫祭、  
**規格外野菜**使い「鍋コンテスト」全国3位入賞など



住む家、車

仕事

分からないことばかり

貪欲に情報集めて、最後の判断は直感

友人

3年間の協力隊終わった後はどうしよう

仲が良い友人たちと離れたいのか？

大いに悩む

どこで何して暮らしたいか？

移居前



櫻庭伸也

人間関係はお金価値  
お金の切れ目が縁の切れ目  
お金無いと暮らしていけない

自分の未来を会社に委ねる？

どこが良い？

インターネット調査。イベントに足を運ぶ。話をしてみる。現地に行く。応募してみる。

暮らしていける？

移住理由

「未来を描けなかった」  
自分に嘘をつかない

後悔しない人生

やりたいと思ったことはやる  
やってダメだったなら後悔しない

生きる力が欲しい

ペーパードライバー、食つくる、道具使う  
お金を一人で稼ぐ、循環型の暮らし、自分も生態系の一部

自分の人生を過ごす

お金のため、仕事だから仕方ない。常に競争して勝つこと

3.11

移住キツカケ

力の無い自分に落胆

被災地でガレキ拾いをして誰が喜ぶ？

助けようと思ったのに逆に東北の人たちに助けをもらう  
仕事を通じて社会貢献したい

依存の人生から脱却したい

今後会社や国に自分の人生を任せていくのか？

世の中を知らない

東京で使う電気は福島で作られていた

現実を見ないように

現実を直視したくなかった。

未来を考えるのが怖い。今のままではダメだ

# 栗原の地域おこし協力隊になった理由

① 自給自足の暮らしに挑戦できる

② 農泊を仕事にできる

- ・ 栗原の人と外の人を交流
- ・ 栗原に暮らしたい人を増やす

開拓

畑で野菜づくり

古民家&修繕

賃貸契約

移住後



櫻庭伸也

①暮らし

循環型  
自給自足

☆薪ストーブDIY

環境

☆自然に癒される



## 2.活動紹介

2019年10月 栗原市地域おこし協力隊（農泊）着任

2020年 7月 栗駒文字地区の空き家、田畑、山林を借りる

2020年12月 栗駒文字地区で暮らしはじめる

2021年 4月 民泊登録、農泊を開始&栗駒山麓ジオガイド登録

2021年 9月 栗原市地域おこし協力隊（文字地区）へ

2022年 3月 **現在** 農泊「古民家櫻ノ庭」個人事業主 開業

2022年 9月 栗原市地域おこし協力隊（文字地区）卒業予定



①家の改修&田畑&山林整備

②文字地区の方々と農産物を  
事業化へ向けてなど共に活動

# 農産物を産業へ



## 民泊 & 体験

## 藍染 藍こぎ体験

移住後



櫻庭伸也



## 情報発信

栗原市農泊推進協議会  
 所在地: 栗原市 2月11日 22:02

【掲載】文字地区古民家での暮らし  
 先ほど紹介した取材の様子が掲載されました。(河北新報 2021年2月8日記事)  
 初めての自然豊かな土地での古民家暮らしは慣れないことが多く、地域のみなさん  
 がら喜んでいます。... もっと見る

栗原・地域おこし協力隊の桜庭さん

里山生活SNSについて

寒さ、豪雪、住民との交流も「地域のファンつくる」

1,288 リーチした人数  
 202 エンゲージメント数

投稿を宣伝  
 シェア件数 27

## ②仕事



## 旅行商品





## 2.活動紹介 vol.1 「農泊」

・母屋230m<sup>2</sup>、納屋230m<sup>2</sup>（築60年）  
田畑1ha、山林1ha

・暮らすのに必要な最低限の修繕を実施  
（まだまだ掃除、片付け、修繕必要）

・協力隊終了後も仕事を安定させ、地域の  
人と関係性が良好であれば所有権を譲渡へ

・やりたいこと  
「外から来た人」×「地元の人」= 交流体験

※現在、地域の人からは「落ち着くまで交  
流は控えたい」

一緒にやれるところに行い、受入できる人  
を増やしていきたい。

古民家を借りる。自分で直す。

民泊登録「古民家櫻ノ庭」  
2021年4月～



藍染 藍こぎ作業



地域の人と芋煮会



学生(市役所：移住促進) 学生が再来訪で1週間宿泊  
「農体験」×「バーベキュー」

## 参考) 開業後の宿客例

- 2021年4月民泊開業
- 今は1週間に1組くらいの頻度が理想  
(開業から延べ66人宿泊)
- 現在は知り合い (PCR検査等で陰性の方のみ)



栗原在住者  
「スズメバチトラップ」



東京コンサル会社  
「視察」×「地域案内体験」



地域おこし協力隊  
「ワークショップ」×「畑作業体験」



愛藍人・文字



## 2.活動紹介 vol.2 「正藍冷染」

- ・日本最古の染色技法  
飛鳥時代以前に中国から伝わった技法を守り続けている
- ・初代千葉あやのさん（人間国宝）現在4代目へ
- ・藍染は6月～7月の間だけ（藍が自然発酵する気温）
- ・一般の人にも体験できるようにと3人の女性が中心となり20年以上活動
- ・課題「人」「生業」

- ・今後
- ①新商品開発「ランプシェード」
- ②栽培面積拡大





代表の高橋誠さん



愛藍人・文字



## 2.活動紹介 vol.3 「苔」

- ・文字苔っこの会(令和2年5月28日設立)
- ・文字地区は湿度が高いため苔栽培に適している
- ・県と協力しながら愛藍人・文字で試験栽培&苔フェアなど
- ・文字地区の未使用土地を活用し生業へとつなげていきたい

今後

- ・一般向け「苔テラリウム」
- ・法人向け「環境緑化」



代表の菅原靖さん



畑



葉、茎を食べます



新メニュー開発に向けた会

## 2.活動紹介 vol.4 「行者にんにく」

- ・行者にんにく生産組合(平成23年設立)
- ・幻の山菜
- ・ニンニクに似た匂いがあり、  
滋養強壮の効果がある
- ・文字地区で暮らす生業へ
- ・未使用土地で手間かからず
- ・種からだと7年。株分け3年。
- ・約10年育て増やし続けてきた。

- ・今後
- ①販売（栗原市内飲食店、愛藍人・文字など）
- ②販売量拡大（耕作放棄地）
- ③メンバー増員



代表の三浦勝衛さん  
千葉タケノリさん



原木へ駒打ち



今年は31本、来年は330本



耕作放棄地をにんにく畑へ

## 2.活動紹介 vol.5 「キノコ」「にんにく」

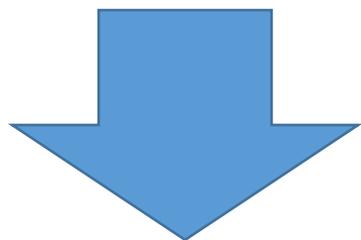
- ・ 団体設立
- ・ 場所は櫻庭宅の裏山など活用
- ・ 原木を活用し3年後から収穫
- ・ 放射能対策も配慮

今後

- ・ 3月末：原木330本駒打ち
- ・ にんにく（ホワイト6片）  
1000栽培中。  
6月頃収穫し黒にんにく加工

**山村活性化対策事業を活用（最大1,000万円／年）**

**「藍染」「苔」「行者にんにく」「キノコ」**



**事業化に向けた活動**

**文字地区コミュニティ推進協議会にて**

**事務局と会計と全現場を担当**

**毎日朝から夜まで文字地区の方々と話し合い**



バルーンリリース



スノーモービル



お手伝い (畑)



草刈り

## 2.活動紹介 vol.6 「地域系」



桜植樹



- ・飲み会&お茶っこ
- ・文字地区コミュニティ推進協議会 役員
- ・SNSやりたい
- ・スマホにしたい
- ・写真撮影方法、加工方法

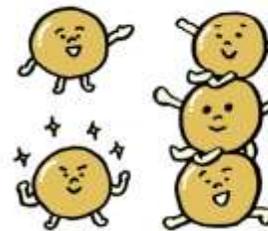
など

## 2.活動紹介 vol.7「個人」



①栗原市（文字地区）をPR  
イベント開催&講演&活動紹介&暮らし紹介

## 大豆



②自給自足を体験（耕作放棄地活用）  
大豆を食べる「まめちゃんプロジェクト」



第37回エコ×エネ・カフェ  
「地方移住は令和の時代を生き抜くチカラを育む!!」  
～地方創生から見るこれからの暮らしや働き方～  
③副業 オンラインイベント運営

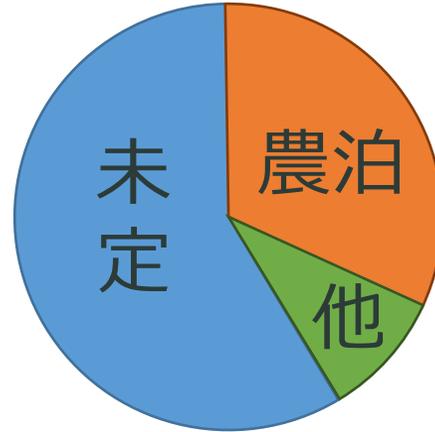
### 3. 今後

- ・ 自分が幸せになり、自分のまわりも幸せにする
- ・ SDG s (循環)型の暮らしをしているオーナーがいる民泊 (宿)
- ・ 地域の方々との交流を大切にする (情報発信強化)
- ・ 暮らしていけるようにお金を稼ぐことを大切に行う
- ・ 自然に囲まれ共に暮らす若い人たちを増やす (空き家53軒)
- ・ 「楽しい」を大切にする事 など



### 3. 今後②

- ・ 協力隊卒業後、週3～4日でお仕事あれば教えてください



- ・ 家の修繕、農作業一緒にやりませんか？  
屋根塗装、納屋整理・改造、原木キノコ、開拓など
- ・ もし使えるものあれば教えてください。  
管理機、トラクター、草刈り機、軽トラ、薪など